

あすりーと高岡

第19号



平成14年
新春武道稽古始めの式



柔道



弓道



剣道



なぎなた

平成13年度役員研修会 体育功労者表彰式

平成13年12月1日(土)
於 まんよう荘



恒例の高岡市体育協会の研修会が、長江の「まんよう荘」において加盟団体の役員八十名余りの出席のもと開催された。今回は、講師に富山県教育委員会スポーツ課長高森 勇氏を迎え、「二十一世紀の富山県スポーツ」と題し講演していただいた。

《講演要旨》

二十一世紀のスポーツ振興は、○高齢者、障害者を含む県民の誰もが、スポーツに親しむことができる環境整備○国体を機に高まった本県競技力の維持・強化○スポーツを通じたたくましい児童生徒の育成が課題である。

富山県は、「健康とスポーツのはつらつ県」「生涯スポーツ社会」「豊かなスポーツライフの創造」をスポーツ振興の目標と基本理念にしている。自身の中学校三年生の時にとやま国体の開会式に参加した事や、ロシアでの地域スポーツクラブ等を視察した経験等を織りまぜて話していただいた。

さらに、振興施策の方向性の基本施策として、①県スポーツ施設の有効利

用や県総合体育センターを充実させる等、県民がスポーツを楽しむ環境づくり②教員の資質の向上と指導体制の充実や各種スポーツ指導者の養成等、県民のスポーツを支える人づくり③スポーツ大会・イベントの開催、スポーツ医科学の活用等、県民のスポーツ参加を促す機会づくり等の基礎的条件を整備する。

また、重点施策として、H8年から展開している福野町の例を紹介しながら、①補助制度の充実や広域スポーツセンター、派遣スポーツ専門員による支援体制の整備・充実をもとにした一体的な取り組みによる総合型地域スポーツクラブの全県展開。②強化拠点の整備・充実や一貫指導体制の実現等の競技力向上システムの整備。③地域の指導者との連携、近隣校との連携、総合型地域スポーツクラブとの連携等を視野にした、学校体育・スポーツの充実。④日本スポーツマスターズの開催、全国スポーツレクリエーション祭の開催等、二十一世紀を展望したスポーツ振興の総合的な取り組みを意識し、本県スポーツ振興の基盤となる新たな仕組みづくりを目指している。

当協会として、特にスポーツ指導者の養成やスポーツ団体の育成、ジュニア選手の育成に係わる強化の継続と指導体制の充実等、今後の取り組みのうえで指針となる有意義な講演であった。

《小・中・高校生の表彰》

研修会の席上において、講演に先立って平成十三年全国大会上位入賞者十五名を表彰した。

◆小学校

○上野 恵梨子(木津小学校)

第十四回全国少年フェンシング大会

五位

○橋田 祐里(能町小学校)

平成十三年全国ジュニアオリンピック

カップ水泳 夏季大会十一才

百m平泳ぎ 二位

○大牧 功明(木津小学校)

第十八回全国少年レスリング選手権

大会二年生の部二十二kg級 二位

○塚田 哲士(横田小学校)

第十八回全国少年レスリング選手権

大会二年生の部十三kg級

二位

○高岡古城フェンシングクラブ〔上野

恵梨子、柳沢 歩(小杉小学校)、棚辺

麻波(牧野小学校)〕

第二回全日本少年フェンシング団体

選手権大会

小学女子の部 二位

◆中学校

○高岡古城フェンシングクラブ〔林こ

のみ(国吉中学校)、内尾奈々、堀

美里(志貴野中学校)〕

第二回全日本少年フェンシング団体

選手権大会 中学女子の部 四位

◆高等学校

○劉 志遠(高岡工業高校)

平成十三年全国高等学校総合体育

大会バドミントン競技男子シングル

ス 三位、男子ダブルス 優勝

○平田 典靖(高岡工業高校)

平成十三年全国高等学校総合体育

大会バドミントン競技男子ダブルス

優勝

○劉 晶(高岡龍谷高校)

第五十六回国民体育大会バドミント

ン競技少年女子 二位

○佐伯 美沙都(高岡龍谷高校)

第五十六回国民体育大会バドミント

ン競技少年女子 二位

○今井 幸代(高岡西高校)

第五十六回国民体育大会バドミント

ン競技少年女子 二位



トナミ運輸

初優勝！

昨年の十一月二十四日の高岡市民体育館会場を皮切りに開催されたバドミントン日本リーグ二〇〇一でトナミ運輸バドミントン部は、見事七戦全勝で優勝した。トナミ運輸は、日本リーグで二位を過去四度経験していたが優勝は初めてである。

トナミ運輸は、開幕初戦で四連覇中だったYKK九州と、十二月二十三日に五戦全勝同士で対決したNTT東日本（前季二位で最多優勝回数を誇る名門）の二強にいずれも三〇〇で圧倒。日替わりでヒーローが生まれるなどして、ベスト電器、日本ユニシス、NTT北海道、NTT東日本宮城、NTT西日本大阪等に快勝した。

出場試合を全勝で終えた大物ルーキー舩田圭太選手に最高殊勲選手賞、殊勲選手賞に朴 星宇、大東忠司選手組、新人選手賞に舩田、大東両選手が選ばれた。

今季、舩田、大東両選手の加入で若手を中心にベンチが盛り上がり、チームの勢いになり、チーム内での競争心も上がったことが快挙に結び付いたものと確信する。トナミ運輸バドミントン部の今後益々の活躍を期待したい。

ニューヒーロー紹介

舩田圭太選手



舩田圭太選手は、石川県出身、中学時代から注目されており、バドミントンの名門金沢市工高へ進み、更に磨き鍛えられ、主な成績等は、二・三年生のインターハイ単と三年生の国体で優勝。日体大へ進学後、98・99インカレ単、98・99・00インカレ複、98・99総合単複、00総合単等で優勝し、マレーシアオープンで単ベスト8や00シドニーオリンピック出場等、世界を舞台に大活躍している。

大東忠司選手



大東忠司選手は、長崎県出身、中学時代から好成績を残し、更に力を伸ばすため、熊本県の幾多のバドミントンの優秀選手を育てた八代東高へ進学し、主な成績は、二年生のインターハイ単複2位、三年生で団・複優勝。日体大へ進学後、97・00インカレ単、98・99・00インカレ複、98・99総合

複等で優勝し、舩田選手と組んで、00年にフランス、キューバ国際でも複で優勝するなど輝かしい経歴の持ち主である。

両選手は名実ともに、日本を代表する選手であり、このような素晴らしい選手が身近に活躍していることは、高岡市スポーツ界のみならず市民の誇りであり、期待は大きいものがある。

「2001年みやぎ国体」

夏季大会高岡市関係上位入賞者成績一覧

- ・坂田 芳寛（富岡総合／水泳飛込）成年男子 優勝
- ・板飛び込み 優勝
- ・北本 忍（富山県体育協会／カヌー）成年女子 レーシング・カヤックシングル 500m 優勝

「2001年みやぎ国体」

秋季大会高岡市関係上位入賞者成績一覧

- ・長谷川明美（北日本物産／テニス）成年女子 優勝
- ・柳川 祐吉（北陸電力／バレーボール）9人制成年男子 団体 3位
- ・和泉けい子（高岡商業高校／バレーボール）6人制成年女子 団体 3位

竹沢 浩司（日本大学2年）／自転車成年男子 1000mタイムトライアル 3位

山森 誠二（高岡商業高校）／ソフトテニス成年男子 小峯 秋二（西部体育センター）

宮崎 慎吾（五福公園）

田中 誠治（武内プレス工業）

岩井 浩二（北陸流通）／軟式野球成年男子B

伊沢 忠（北陸流通）

岩田 安弘（北陸流通）

江畑 佳昭（北陸流通）

杉本 雅昭（北陸流通）

藤森 貞幸（北陸流通）

松田 英樹（北陸流通）

磯崎 祐子（塩谷建設）／柔道成年女子

橋本 和代（高岡南高校）

吉川 大助（トナミ運輸）／バドミントン成年男子

舩田 圭太（トナミ運輸）

大東 忠司（トナミ運輸）

田村 美幸（日本体育大学1年）／バドミントン成年女子

劉 晶（高岡龍谷高校2年）／バドミントン少年女子

佐伯美沙都（高岡龍谷高校3年）

今井 幸代（高岡西高校3年）

堂谷内智子（高岡市社会福祉協議会）／山岳成年女子

松島 ゆり（北陸西部通商）

登はん 2位

坂井 誌（高岡衛生公社）／クレ射撃成年男子

3位

平成13年度

ジュニア選手育成強化事業の紹介

～とやま国体の後に～

第2回ジュニア選手 強化推進委員会の 開催について

この委員会は、ジュニア選手の育成強化を推進し、本市スポーツの競技力向上を図るために設置された。委員は、平成13年度ジュニア選手育成強化事業の対象種目であるバドミントン、ソフトテニスなど11競技の指導者で組織されている。

第2回委員会では、平成13年度事業の各競技中間報告をもとに成果や課題について話し合われた。

成果としては、①参加者の技術的な向上。②指導体制の充実。③参加者の動機付けや経験の蓄積。その他、飛込や陸上競技において多くの小学生の参加が見られスポーツ人口の底辺拡大が図れた。

課題としては、①指導者確保など、より一層の指導体制充実。②広報活動の充実による参加者の増加と選手選考基準の適切化。③指導内容の精選と高頻度化による事業内容の充実などがあげられた。

平成14年度事業に対する要望として①事業費の支援。②体育施設使用への配慮。③啓蒙・広報活動の充実などがあげられた。

また事務局からは、「サタデースポーツセミナー（仮称）」と「先進地視察による伝達講習会」などスポーツ人

口拡大や指導者の資質向上について提案があり、白熱した議論がなされた。

柔道競技 中学生の活動について

一、活動内容について

柔道部が設置されている市内10校の部員を対象に、高岡武道館を会場にして次のような練習会等を実施している。

- (1) 春季合同練習会（4月28日・5月3・4日）
- (2) 県体強化練習会（7月23・27日）
- (3) 秋季新人強化練習会（9月16日・10月7日・11月3日）
- (4) 冬季新人強化合宿（12月26・27日）
- (5) 冬季合同練習会（1月26日・2月11日）
- (6) 「投げの形および柔の形」講習会（8月18日）
- (7) 講演会および技の講習会（10月28日）



二、特筆すべきこと

(1) 毎年、高岡市体協・柔道連盟から多額の資金援助や実技指導講師の派遣などの援助を受け、高岡市中学柔道の技

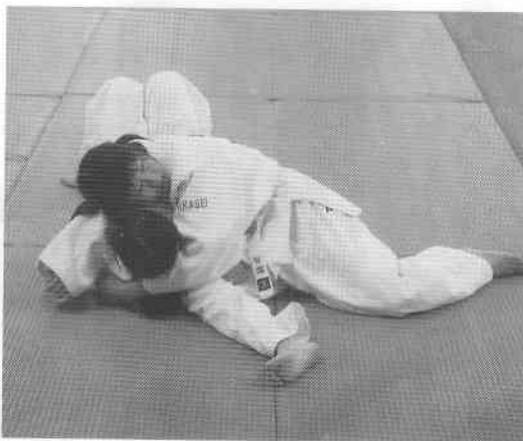
能向上に大きく寄与している。

(2) 市内十校の部員の参加率が高いため、少子化に伴う部員数の減少に苦しみ殆どの学校にとっては、充実した練習が定期的にできる。

(3) 新人強化合宿では、次年度の活躍が期待される選抜された部員を中心に練習するため、高岡市中学柔道レベル維持・発展に役立っている。

三、今後の計画

来年度より週五日制が導入され、部活関係の行事が全て土・日に行われる予定です。それに伴い市柔連から派遣を得やすい日曜日を中心に練習会や講習会を増やして底辺の強化にあたりとともに、市外の強いチームにも参加を呼びかけて、上位層の強化も図っていく予定です。



（高岡市柔道連盟 堤 博昭）

高岡市サッカー協会における ジュニア選手育成強化事業 について

高岡市サッカー協会が現在行っている選手育成の柱は、トレーニングセンター制度（通称トレセン）である。これは「日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、よい環境、よい指導を与える」ことを目的として1980年に日本サッカー協会が本格的に活動をスタートさせた。この制度の中では、選手は登録チームの活動の中から発掘され、地区トレセン→都道府県トレセン→地域トレセン→ナショナルトレセンと徐々にレベルの高い環境の中で指導を受け、トレーニングすることができ、高岡市サッカー協会が実施しているのは地区トレセンに相当する。活動内容は、

日本サッカー協会強化委員会が策定した強化指導指針に基づき、選手の発育発達に応じたトレーニングを実施している。この強化指導指針の存在がトレセン制度において一貫指導を可能にしている。

高岡地区トレセンでは、4種（小

中学、高校選抜が対戦



高校生に交じりボールをキープする中学選手（伏木高校グラウンド）

高岡市サッカー協会は、日、週の中学、高校選抜の強化指導指針に基づき、選手の発育発達に応じたトレーニングを実施している。この強化指導指針の存在がトレセン制度において一貫指導を可能にしている。

双方のプレーに「刺激」

サッカーでは、地域の優秀な選手が、各地域のサッカーチームで活躍している。高岡市サッカー協会は、日、週の中学、高校選抜の強化指導指針に基づき、選手の発育発達に応じたトレーニングを実施している。この強化指導指針の存在がトレセン制度において一貫指導を可能にしている。

掲載：北日本新聞社 平成13年11月9日

学生）、3種（中学生）、の年代が定期的（週1回）に活動している。また、トレーニングの成果を試し、選手に新たな動機付けの機会を与えることを目的に県外遠征を実施している。3種は12月末に京都、4種は3月末に三重県、2種（高校生）は12月末に愛知などの大会に参加している。このような優秀チームとの対戦は競技力向上の重要な機会となっている。

トレセン活動の成果としては、技術水準の高い集団内でトレーニングができるため、参加選手がお互いに刺激を受け個々の能力を高めることができる。さらに、参加選手が所属チームで技術を広めることにより、高岡地区全体のレベルアップにもつながると考えられる。

今年度は、市体協の支援により新しい取り組みとして高校生と中学生の合同練習会を実施した。これは中学生にとっては高校生がどのぐらいのレベル

であるか経験できる良い機会となった。またゴールキーパー専門指導者による練習会も実施することができた。

今後も選手育成強化のため指導環境を整え、トレセン活動の充実を図ってきたい。

（高岡市サッカー協会 澁谷 龍宏）



バドミントン競技練習会 ～優秀指導者の活用～

高岡市バドミントン協会が行っているジュニア選手育成強化事業の一つの強化練習会は、四月から三月までの期間、毎週火、水、木曜日は小学生で三協アルミサンアリーナ、土曜日は、中学生を志賀野中体育館で夕方6時30分～8時30分の年間百九十回を超える練習会を行っている。

主な内容は、①バドミントンにおける基本的なフットワークの習得トレーニング②ノックによる球種別ラケットワーク及びシャトルコントロールの習得トレーニング③ゲーム練習等の実施

である。

指導者の中には、張 天雄、金 善淑氏の韓国出身の二人のコーチがいる。二人は工芸、西校のバド部の指導も兼ね、張さんは、97世界選手権で団体二位等、韓国ナショナルチーム及びソウル市江南区実業団チームのメンバーとして活躍。金さんは、韓国国内の大会で優勝、USオープン大会に出場する等、輝かしい競技歴の持ち主である。両コーチの指導のもと、練習できる環境は整っている。

協会は、バドミントンに興味があり、意欲的な小・中学生を募集しており、将来的にオリンピック出場も夢ではないと期待している。

（編集委員）



スポーツドクター・アドバイス

高岡市民病院 第3医療局長

整形外科 山田 均

肉離れについて

肉離れ

とは、筋肉の部分的な断裂である。肉離れを包む膜（筋膜）の断裂のことをいい、筋肉の完全断裂とは通常区別されます。陸上競技の短距離に最も多くみられますが、その他ラグビー、サッカー、ジャンプ系の競技にも多くみられます。寒冷期においては、瞬発的な動きの多いバドミントンや卓球、剣道など室内競技でも発症の危険が高くなります。

症状

としては、疾走中に急に何かで叩かれたような激痛が走り、その後痛みのために力が入りにくくなります。肉離れをおこした部分を押すと痛みがあり、周囲にはれも伴い、傷害した筋肉をストレッチすると痛みが出現するなどから、診断は容易です。治療としては、けがをした直後は局所の安静をはかり（重症例は副木で固定）、氷などで冷やし、出血、はれをできるだけおさえます。局所の痛みがとれてきたら、筋肉の静的ストレッチや関節を動かすリハビリを早期より開始します。しかし、肉離れの程度は様々ですので、スポーツ復帰の目安は表を参考にして対処してください。

受傷しやすい筋肉

は、ハムストリング（太ももの後ろの筋肉）、大腿四頭筋（太ももの前の筋肉）、ふくらはぎなどです。原因は①筋肉の柔軟性の低下、②筋力や持久力の低下、③左右の筋力の違い、

受傷時の状況からみた肉離れの重症度分類

	I度（軽症）	II度（中等症）	III度（重症）
歩行	支障なし	支障あるも可能	不可能
スポーツ活動	ほとんど支障なし	支障あり、困難	不可能
安静時の痛み	軽度	中等度	強度
力を入れた時の痛み	痛みあるも可能	痛みあるもなんとか可	不可能
ストレッチの時の痛み	ほとんどなし	あり	強度
はれ	なし	なしーあり	あり
関節の動き	制限なし	制限あり	かなり制限
復帰へのおよその目安	1-3週	4-8週	2-6カ月

④太ももの前と後ろの筋力のアンバランス、などが考えられ、筋肉の蓄積疲労、ウォーミングアップ不足、ストレッチ不足が背景にあることがほとんどです。

冬場は室内

で基礎体力づくりが行われる競技が多いと思います。そんな中で肉離れをおこす例（急に重量の重いバーベルを挙げたときなど）も散見されます。どんな練習、トレーニングを行うにせよ、いつもと同じように準備運動をしつかり行ってから臨んでください。

寒冷期にはとくに注意が必要です。一度肉離れをおこした筋肉の再受傷率は16%—22%と高いことが過去に報告されています。肉離れをおこした部分の筋肉は、治ったとしても周りの筋肉と比べると、出血などのために弾力性が低下してしまっているため、急激な筋収縮の際に再発をおこしやすいのです。再受傷を予防するにはいままです。以上に入念なウォーミングアップとストレッチが必要です。

加盟団体紹介(30)

高岡市レスリング協会

高岡市レスリング協会は昭和39年10月、アマチュアスポーツとしてのレスリングの普及と学校教育の一環としての部活動育成を図るために、高岡商業高校及び高岡東高校(現高岡向陵高校)のレスリング部を母体として設立されました。

発足当時は2チームで部員数も僅かでしたが、現在は高岡第一高校と企業チームの宮越工芸(株)レスリング部に加え、平成7年からはジュニアクラブチーム「少



年少女レスリング教室(ちびっ子教室)」を開いて、底辺の拡大を目指しています。今回はこのジュニアクラブチームについてご紹介いたします。

このクラブは、平成8年夏に全国少年少女レスリング大会黒部大会に向けてその前年に創設されたのですが、平成13年4月現在部員数は30名を数え、うち女子は3名加入しています。特筆すべきことは、このうち20名はレスリングについて親御さんは全くの未経験者であるということです。にもかかわらず入部を奨めていただいているということは、指導の方針として技や体力づくりだけでなく、礼儀などにも重点を置いて指導していることによるものと自負しています。

指導者は宮越工芸の角地山 豊コーチ(青森県光星学院→日本大学→警視庁)を中心に数名で指導に当たっています。また、保護者にも希望者には審判講習会を行うなど、子供と一緒にマットに上ることができるようにもしています。

練習は運動着と内履きシューズさえあればすぐにできます。何よりも安全に対して特別な配慮をしています。一方、個人競技ですから練習や試合への参加は強制しませんし、参加した部員(子供)はすべて試合に出場することができます。

試合は予選を行いませんので、全国大会出場に最も近い競技であるといえます。これまで全国少年少女レスリング大会、全国中学生レスリング大会を始め数多くの全国規模の大会に出場し

ています。また、これまでにアメリカ遠征の経験者が2名います。

高岡市レスリング協会としては、県内における他のジュニアクラブチームとともに歩調を合わせ、レスリング人口の底辺拡大を図りながら、これ

までに数々の栄光と実績を積んできた高校チーム及び企業チームの育成とさらなる発展を願っているところです。



ジュニアレスリング教室

平成14年4月～15年3月

と き 第2・4土曜日 第1・3日曜日
午前10:00より

ところ 宮越工芸MCホール

参加費 1ヶ月500円
持ち物 内ばきシューズ・運動服
指導員 レスリング協会指導員
申込み 高岡市体育協会(電話 26-5225)

第十回

スポーツ医科学

シンポジウム

開催のお知らせ

本市の体育・スポーツの振興・競技力の向上を図るためには、将来のスポーツ活動を支えるジュニア層の育成強化が不可欠です。今後、各種事業が充実するためには、指導者の確保及び資質向上が求められます。そこで、ジュニア選手について医学的・科学的理解を深め、指導力の向上を目指すため、次のとおりシンポジウムを開催いたします。

日時 平成十四年二月二十三日(土)

午後二時～四時十分

会場 高岡短期大学 講堂

テーマ『ジュニア選手からの育成強化再考』(ジュニア選手に適した指導法)

話題提供者

山田 均氏、吉崎克文氏

西本幸夫氏、近藤智久氏

パネルディスカッション(司会)

北村潔和氏

主な内容は、「発育発達バランス」「スポーツ障害と予防法」「小・中学生の指導現場」等の話題提供や、パネルディスカッションを行いますので、多数の皆様参加をお待ちしております。

スポーツ 人脈5

ハンドボールとともに

高岡市ハンドボール協会 理事長 鍋島 遼一 氏



高岡市ハンドボール協会の理事長として三十年にわたり、競技の普及・振興に尽くされている鍋島氏を語るには、旧制高岡中部高校（現高岡高校）のハンドボール部の歴史から始まったと言っても過言ではありません。

鍋島氏は、旧制高岡中学校に昭和二十一年に入学し、当時終戦時の混乱期でありましたが、戦争から開放されたことにより、スポーツ活動が盛んに行われるようになり、バレーボール部に入部された。三年生の時、同校出身で文理大学を終えたばかりの井波廉三先生が赴任され、「ハンドボールは楽しいスポーツだぞ」とのPRにより部員を募集され、多くの部員が加入し、本人もその魅力にとりつかれ、バレーボール部からハンドボール部に転部し、活動を始める。

当時の部員には、優秀な生徒が多く、先生の厳しい指導により、チームがめきめき力を付け、高岡高校一年生（昭和二十四年）の時に県予選を勝ち抜き、東日本高校選手権大会において、準優勝し、さらに二・三年時にインターハイ、国体に出場し主力選手として活躍する。卒業後は、高校OBによる「三日会」を結成しその世話人として各種ハンドボール大会に出場し、高岡市のハンドボール競技を支え、後の市協会の設立につながったものといえる。

高岡高校時代「ハンドボールなしの人生は考えられない。旧高岡中学へ戦後、最後の入学をした私達には、井波先生という強烈な教師と出会い、他の運動部に所属していても新しく作るハンドボール部に入

れと半ば強制的に入部。しかし、一人ずつの個性を見抜いて、チームを作り上げる先生は天才ですよ」と井波先生との思い出を話す。

ハンドボール競技に対しての情熱は、昭和四十七年、市協会理事長として、市内の中学、高校が他市に比べ、レベル差があるので競技力向上に向けられた。中でも中学において、南星、志貴野中学校がそれまで常勝の水見市の学校を破り、更に北信越の強敵、石川県代表を連覇し、全国大会に出場した快挙は、市協会の立場で日頃から顧問の先生方を競技会や練習会を通して励まし、指導された成果でありその功績は目立たないが大きいものがあります。

昭和五十一年ハンドボールの日本リーグ発足と同時に、県協会役員として同リーグの招致に努力。以来毎年、高岡会場に全国のトップクラスチームがきてハンドボールファンを魅了させ、平成七年には立山アルミニウム工業(株)に女子ハンドボール部が創設され、現在まで二十数回の会場地協会の役割を担っている。しかし、今春をもって同チームが休部することになって本人にとっても大変さびしく残念な気持ちでいっぱいだと思います。

終わりに鍋島氏は、持ち前の温厚な人格と先見性に優れた指導力により、永年にわたり、高岡市のハンドボール協会の育成に大きく貢献されたものと思います。まだまだお元気ですからハンドボールの競技人口の増加と競技レベルの向上、さらに協会の発展に尽くされるよう念願するものであります。

(編集委員)

平成14年度前期の主な行事予定

- 4月26日 理事会
- 4月27日 第48回前田杯ソフトテニス大会(中学の部)
- 4月29日 第48回前田杯バレーボール大会(中学の部)
- 5月11日 評議員会
- 6月30日 第55回高岡市民総合体育大会(総合開会式)
- 7月6日～7日 第55回高岡市民総合体育大会(基準日)
- 7月27日～29日 第55回富山県民体育大会(砺波地区)

編集後記

昨年、宮城県で開催された国体では、とやま国体に引き続き、高岡市関係者は、多くの上位入賞者を出しました。また、バドミントン日本リーグ二〇〇一で、トナミ運輸が七戦全勝で初制覇し、大変厳しい社会情勢の中、将来に希望の持てる明るい話題もありました。

当協会は、二十一世紀へのスポーツ活動を推進するため、今後モジュニア選手強化事業の充実を図ります。さらに、平成十四年度から導入される学校週五日制による余暇の有効活用を考え、土曜日に小学生を対象に新たな事業を企画しております。